Panasonic

293

施工説明書
取扱説明書

保管用

一体型ＬＥＤベースライト

ｉＤシリーズ　システム天井リニューアル対応器具

適合本体	ラインシリーズW330	ラインシリーズW320	ラインシリーズW220	ラインシリーズW120
一　般	NSEK47833J	NSEK47832J	NSEK47822J	－
リターン付	NSEK47933J	NSEK47932J	NSEK47922J	－

特注品
NSR83R9 NSE814R9

・適合本体と適合ライトバーの組合せは承認図・カタログを参照してください。
・本照明器具はパナソニック製ｉＤシリーズ専用本体とライトバーの組合せで性能を満足します。
・上表以外の本体をご使用の場合は、本体に同梱の説明書を参照してください。
・下表のライトバーをご使用の場合は、ライトバーに同梱の説明書も合わせてご覧ください。

適合ライトバータイプ	ライトバー同梱説明書確認項目	
プルスイッチ付	施工説明	・各部のなまえと取付方法 プルスイッチ固定金具の固定
明るさセンサ付	施工説明	・各部のなまえと取付方法 センサ動作モードの設定（明るさセンサの場合）
	取扱説明	・動作について（明るさセンサの場合）
		・使用上のご注意（明るさセンサの場合）
		・故障かな？と思ったときは（明るさセンサの場合）
		・商品仕様（明るさセンサの場合）
		・明るさ記憶のリセットについて（モード１での使用）
アレンジ調色タイプ	施工説明	・施工上のご注意
	取扱説明	・使用上のご注意

適合ライトバータイプ	ライトバー同梱説明書確認項目	
ひとセンサ付	施工説明	・各部のなまえと取付方法 センサ動作モードの設定（ひとセンサの場合）
		・施工後の動作確認（ひとセンサの場合）
	取扱説明	・設定について（ひとセンサの場合）
		・使用上のご注意（ひとセンサの場合）
ＰｉＰｉｔ調光タイプ ＬｉＢｅｃｏＭ調光・調色タイプ	施工説明	・施工上のご注意
		・使用方法
	取扱説明	・⚠注意
		・使用上のご注意
ウィズリモタイプ ウィズリモ2タイプ	施工説明	・施工上のご注意
	取扱説明	・⚠注意
		・使用上のご注意

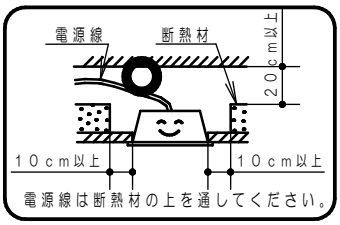
（一般屋内用）　・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠警告

●ライトバーを単独で使用しない。　必ずパナソニック製ｉＤシリーズ専用本体とライトバーの組合せで使用する。
落下・感電・火災の原因となります。
●施工は、施工説明にしたがい確実に行なう。　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●本体、ライトバーを分解、改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
●ライトバーのパネルは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。
万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
●ライトバーが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±６％）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
●断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。（埋込型のみ）
●電源線には、ライトバー同梱の耐熱チューブをかぶせてご使用ください。感電・火災の原因となります。
（耐熱チューブ同梱のライトバーのみ使用する）



⚠注意

●直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では
使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃で使用してください。　指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや器具の耐用年限が短くなる原因となります。
●一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
（一部の食品や薬品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれます。）
光学性能に影響を与える場合があります。
●ライトバーのパネルはポリカーボネート製のため、直射日光の当たる場所や蛍光灯が近接する場所などの紫外線の多い場所、
ヘキサンやアセトンなどの有機溶剤が使用される場所では使用しないでください。　パネルの劣化・破損の原因となります。
●器具本体は単独で使用できません。必ずパナソニック製ｉＤシリーズ専用本体と
ライトバーの組合せでご使用ください。落下・感電・火災の原因となります。
●一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、
雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。
●この器具は図面表記のＴバー専用です。他のＴバーには取付けないで下さい。
落下の原因となります。
●Ｔバー芯間隔は図面表記の寸法±１．５であることを確認してください。
間隔が広すぎると落下の原因となります。
●器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

各部のなまえと取付方法

⚠警告

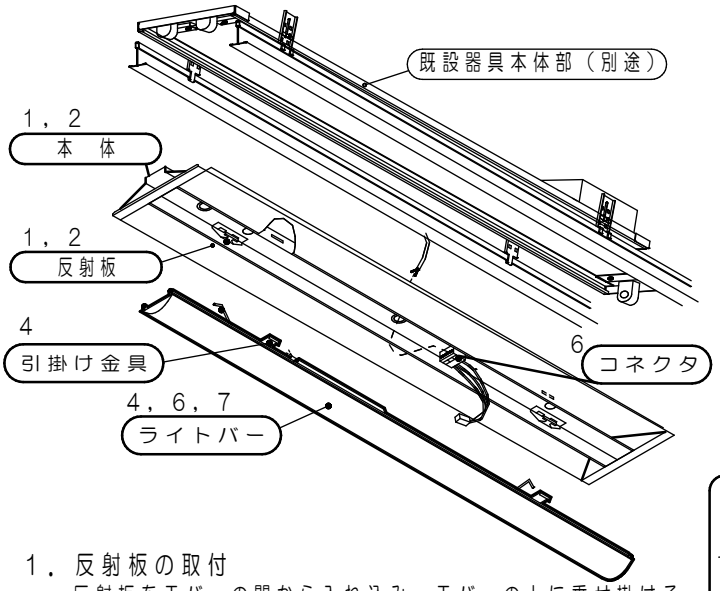
施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
ライトバーの取付・取外しは必ず電源を切る。

●取付前の確認

・必ず電源を切ってから行なってください。
・既設器具の反射板と前板を取除き、器具質量に耐える様、
天井部材の強度確保する。
不備があると天井落下の原因となります。
・既設器具の端子台から電源線をはずし、長さを確認する。
・既設器具のソケット線を切断し、ソケットを取外す。
（サイドチャンネル内のソケット線も取除いてください。）
・Tバー芯間隔が公差内であることを確認してください。
１２０±１．５、２２０±１．５、３２０±１．５、３３０±１．５
不備があると反射板落下の原因となります。

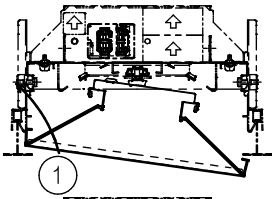
【ＮＳＥＫ４７８２２Ｊ施工の場合】

作業する際は必ず２人以上で作業を行ってください。
１人作業の場合、反射板落下の原因になることがあります。

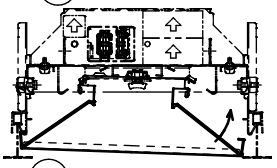


1．反射板の取付

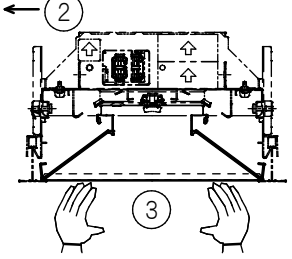
・反射板をTバーの間から入れ込み、Tバーの上に乗せ掛ける。



①Tバーの間から反射板を持ち上げます



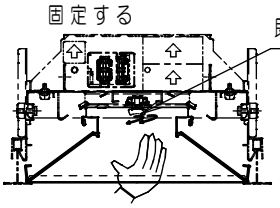
②反射板をずらしながらTバーに
乗せ掛けます



③Tバーに乗せ掛けた後は、手を
放さないでください
作業時は必ず１人は反射板を支え
て施工を行ってください
**１人作業の場合、反射板が落下する
恐れがあります。**

2．反射板の固定

本体穴と既設器具ラッチ位置を合わせ、最後にラッチを回転させ
固定する

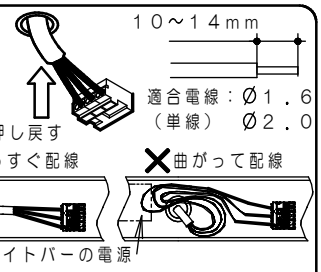


**ラッチの取付けに不備がある場合
反射板が落下する恐れがあります。**

3　電源線・アース線の接続

・電源線、アース線を確実に差し込む。
・D種（第3種）接地工事が必要。

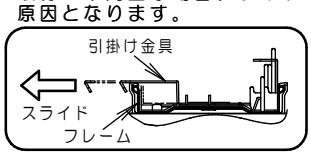
・電源線接続後、余分な電源線はライトバーとの
干渉を防ぐため電源穴へ押し戻すか、
電源線をおさえて処理すること。
・電源穴と端子台の間は曲げずにまっすぐに
配線すること。
・余分な電源線を器具外に戻せない場合、
適切な長さに切断すること。
・器具内送り配線をする場合、
本体の受け金具・端子台と
ライトバーの電源・キックバネ・
引掛け金具に挟まれないように電源線を収納する。



不備があるとライトバーの電源と干渉し電源線損傷による感電・火災の原因となります。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合火災の原因となります。

4　ライトバーの引掛け

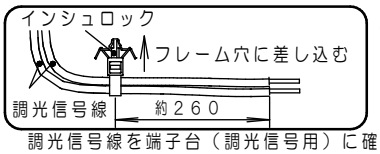
・ライトバーの引掛け金具をフレームに
当たるまでスライドさせ、本体の角穴に
片側ずつ確実に引掛ける。
**取付が不完全な場合、ライトバー落下の
原因となります。**



明るさタイプ（40形）	容量
6900ｌｍタイプ	12A
3200ｌｍタイプ	20A
5200ｌｍタイプ	13A
2500ｌｍタイプ	20A
4000ｌｍタイプ	14A
2000ｌｍタイプ	20A

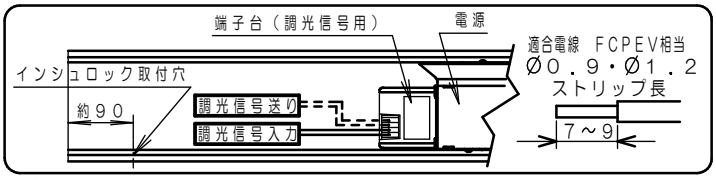
5　調光信号線の接続（ＬＡ、ＬＲ、ＤＫ方式の場合）

調光信号線を先端から約２６０ｍｍの部分でインシュロック（同梱）で結束し
ライトバー側面の穴（端から約９０ｍｍの位置）に取付する。



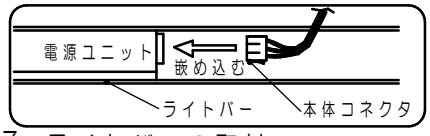
（注）インシュロックは引き
抜かないで下さい。
再使用する場合は結束を
外して行ってください。

調光信号線を端子台（調光信号用）に確実に差し込む。
・調光信号線に極性はありません。コントロールとの結線又は
制御可能台数はコントロールの説明書をご確認ください。



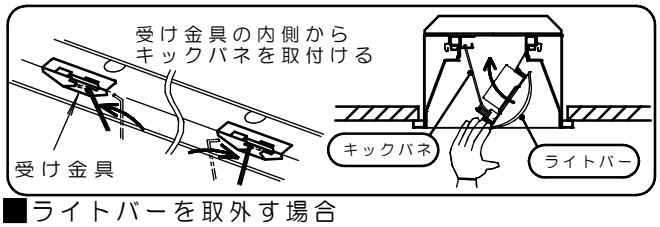
6　コネクタの接続

・本体とライトバーのコネクタを確実に接続する。
『カチッ』っと音がするまで嵌め込んでください。
接続が不完全な場合、火災の原因となります。



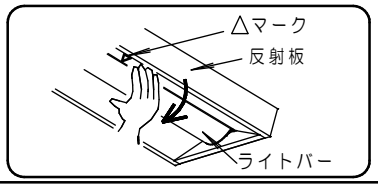
7　ライトバーの取付

・ライトバーのキックバネを本体の受け金具に確実に取付ける。
・コネクタを挟まないようライトバーを本体内へ押上げる。
不備がありますと、ライトバー落下の原因となります。



■ライトバーを取外す場合

１．本体の△マークを目印に、手でライトバーを引き下げる。
工具でこじ開けますと、ライトバー破損の原因となります。
２．キックバネを本体の受け金具から外す。
３．コネクタを外す。
４．ライトバーの引掛け金具を本体から外す。

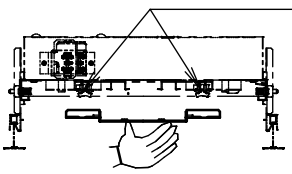


各タイプ別取付方法

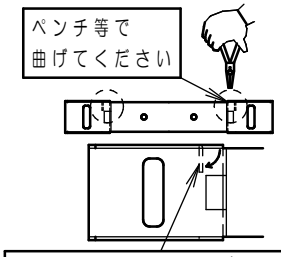
・ＮＳＥＫ４７８３２Ｊ、ＮＳＥＫ４７９３２Ｊの場合

作業する際は必ず２人以上で作業を行ってください。

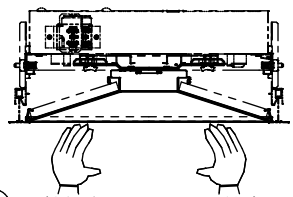
１人作業の場合、反射板が落下する恐れがあります。



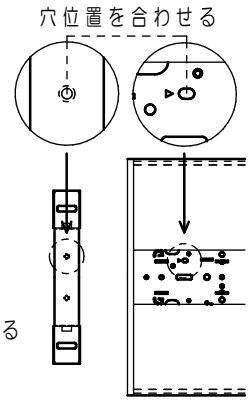
① 既設器具のラッチに取付金具を取付ける。その際、取付金具のツメを内側に曲げる

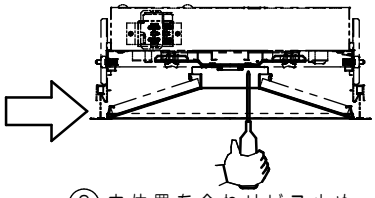


取付後は必ずツメを曲げてください。曲げ忘れた場合、反射板落下の恐れがあります。

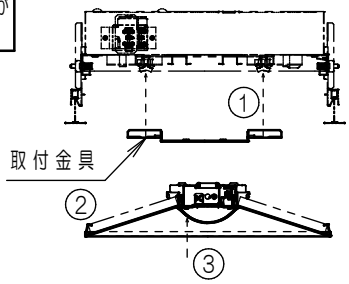


② 反射板をセットし取付金具と本体の穴位置が合うようにする（本体△印で表す丸穴）





③ 穴位置を合わせビス止め
（推奨トルク値１．２Ｎ．ｍ）



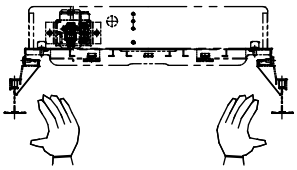
① ラッチ止め
② ビス止め（反射板セット）
③ ビス止め（反射板）

作業時は必ず１人は反射板を支えて施工を行ってください
次項目は「各部のなまえと取付方法」３～を参照ください

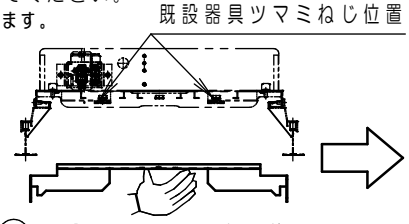
・ＮＳＥＫ４７８３３Ｊ、ＮＳＥＫ４７９３３Ｊの場合

作業する際は必ず２人以上で作業を行ってください。

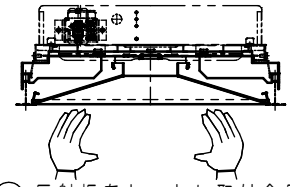
１人作業の場合、反射板が落下する恐れがあります。



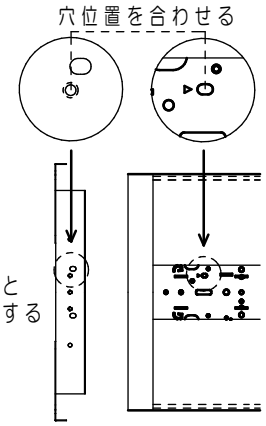
① 浮き上がり防止金具をＴバーにセットする
取付忘れた場合、反射板落下の恐れがあります。



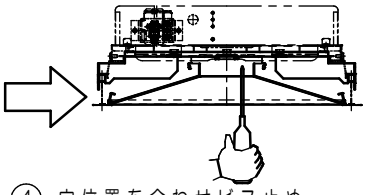
② 既設器具のツマミねじ位置に取付金具を取付ける。
その際、取付金具がＴバーの頭にかかる様セットする



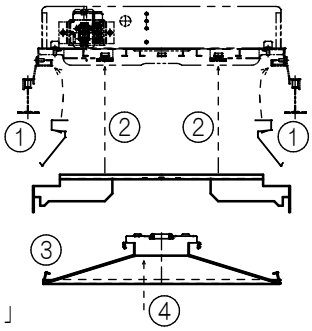
③ 反射板をセットし取付金具と本体の穴位置が合うようにする（本体△印で表す丸穴）



取付方法は下記□枠を参照ください

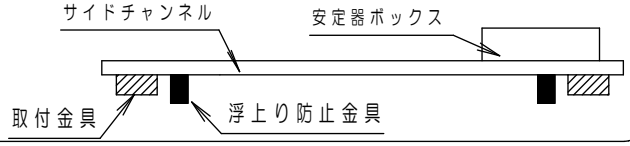


④ 穴位置を合わせビス止め
（推奨トルク値１．２Ｎ．ｍ）
作業時は必ず１人は反射板を支えて施工を行ってください
次項目は「各部のなまえと取付方法」３～を参照ください

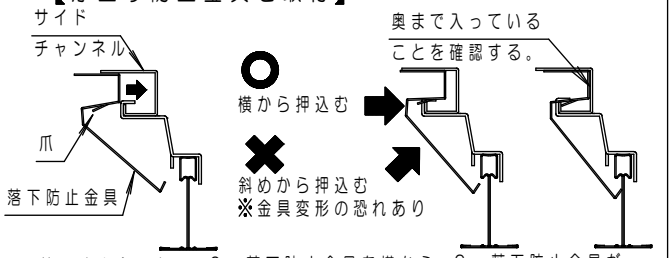


① はめ込み（浮上り防止金具）
② ビス止め（取付金具）
③ 反射板セット
④ ビス止め（反射板）

【浮上り防止金具の取付位置】



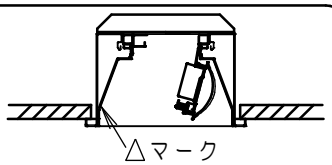
【浮上り防止金具を取付】



1．落下防止金具をサイドチャンネルの隙間にあわせる。
2．落下防止金具を横から押込みサイドチャンネルに取付ける。
3．落下防止金具がサイドチャンネルの奥に当たっていることを確認する。

施工上のご注意

・ライトバーの取り付けには方向性があります。
壁面付近に取り付ける場合、本体の△マークを室内側にしてください。



・バーコードリーダーの機種によっては器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなることがあります。この場合には、器具との距離を離すか遮蔽するなどの対策を講じてください。
・虫の飛来が多い場所で使用される場合は、ライトバー内に虫が侵入する恐れがあります。
このような場合は防湿・防雨型ベースライトなどの防虫仕様器具をお勧めします。
・漏洩電流値が、点灯時より無負荷時や片切消灯時の方が大きくなりますので、漏電警報機等の感度設定はご注意ください。

施工上のご注意（続き）

・起動方式”ＬＡ”の器具は、当社適合コントロールとの組合せにより、光出力を約１０％～１００％に、起動方式“ＬＲ”の器具は、光出力を約５％～１００％に、起動方式“ＤＺ”の器具は、光出力を１０％～１００％に、起動方式“ＤＫ”の器具は、光出力を５％～１００％に、色温度を２７００Ｋ～５０００Ｋに変化させることができます。
※６９００ｌｍ／５２００ｌｍ一般タイプライトバーは約５％～１００％に変化させることができます。

・適合コントロールは、当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については、適合コントロールの説明書をご確認ください。
・接続可能な器具台数は器具の定格電圧により異なります。詳細はライトコントロールの承認図、取扱説明書をご参照ください。
※ライトコントロールで照明器具電源を接続する場合、接続台数が減少する場合があります。
ライトコントロールの定格容量とＬＥＤ器具の定格を事前に確認してください。

■結線について（ＬＡ、ＤＫ方式の場合）
・コントロールの結線は、コントロールの説明書をご確認ください。
・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
・調光信号線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
・電線管をご使用の場合は、電源線と調光信号線を同じ管内に収納しないでください。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警 告

●必ずパナソニック製ｉＤシリーズ専用本体とライトバーの組合せで使用する。　落下・感電・火災の原因となります。
●本体、ライトバーを分解、改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
●ライトバーのパネルは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。　万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
●ライトバーが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。　そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。
●ライトバーを取外す場合は、必ず電源を切る。　感電の原因となります。

⚠ 注 意

●シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
●照明器具には耐用年限があります。設置して１０年※経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。
ＬＥＤ光源は光束維持時間が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※　使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
●１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＨＡ）　点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
●点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下に至る場合があります。

■ＬＥＤ照明器具の光束維持時間は、４０，０００時間（光束維持率７０％）です。

使用上のご注意

・光源として高輝度ＬＥＤを使用しています。光源部（ライトバー）を長時間直視しないでください。
・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
・ＬＥＤ素子にバラツキがあるため、同じ品番のライトバーでも光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。　予めご了承ください。
・ライトバーの品種により始動時間が異なる場合があります。
・点灯直後・消灯直後にプラスチックの伸縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
静かな環境でご使用の場合、きしみ音が気になる場合があります。　この様な場合は直管ＬＥＤ等のプラスチック製カバーのないタイプをお勧めします。

ＬＡ、ＬＲ、ＤＫ方式の場合
・光出力比（％）と目で感じる明るさ感には相違があります。
・コントロールと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。　低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
調光した状態でコントロールの点滅スイッチをすばやく操作した場合、１００％点灯してから設定の調光状態になる場合があります。

保証について

・保証について・・・・・・この商品の保証期間は１年間です。但し、ＬＥＤ電源は３年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間・・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しております。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

・器具の清掃について・・・・
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

⚠ 警告
●感電のおそれあり。お手入れ時は、必ず電源を切ってください。
●パネル破損のおそれあり。ライトバーのパネルは樹脂製です。
取扱いに注意してください。
●やけどのおそれあり。点灯中や消灯直後はライトバーやその周辺をさわらないこと。

■定格

・ライトバーに同梱の説明書を参照してください。

■リサイクル　照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社　〒５７１－８６８６　大阪府門真市門真１０４８
お問い合わせ先　照明器具・ランプ商品ご相談窓口　https://sumai.panasonic.jp/support/
０１２０－１８７－４４１（フリーダイヤル）【受付時間】月～土／９：００～１８：００（祝日・三が日を除く）※携帯電話からもご利用になれます。
０１２０－８７２－４６０（ＦＡＸ）

ＭＮ０７１５－１４０６２６